

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 8 月 4 日

第 20 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

中央教育審議会
教育課程企画特別部会

次期指導要領は「学びの地図」 佳境に入った「審議のまとめ」

中央教育審議会教育課程企画特別部会は 8 月 1 日、「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ」(素案)を検討。改訂の基本方針や具体的な改善の方向性など大詰めの審議を行った。

改訂の基本方針では、グローバル化、人工知能の進化など、社会の加速度的変化を受け、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を育むことを確認した上で、学校と社会が連携・協働して開発していく「社会に開かれた教育課程」の実現が必要とした。

また、学習指導要領の立ち位置として、指導要領そのものが、子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容、学び方の見通しを示す「学びの地図」と表明。日々の教育活動に活用できるものとして具体的・実践的な内容となるよう、特に総則の示し方を抜本的に見直すとした。

さらに、現行指導要領の成果を肯定的に受け止めつつも、論拠を示して自分の考えを述べたり、社会参画する意識については課題があるとして、学習内容を深く理解したり、社会や生活で活用できるようにするため、学習内容の削減は行わず、「アクティブ・

ラーニング」の視点から学習過程を質的に転換させるとしている。これについては、総則にも「何ができるようになるか」「何を知っているか」「どのように学ぶか」といった「アクティブ・ラーニング」の三つの柱をもとに、教育課程の構造や育てたい資質・能力について必要な事項を分かりやすく示していくとした。

そして、新しい総則を手掛かりにして各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実施を促進することにも言及。

具体的な改善の方向性としては、全ての教科等について身に付けていく資質・能力の明確化。各教科等の特質に応じた「主体的・対話的で深い学び」についての考え方を整理し、指導事例集等の作成。目標と評価の観点を一致させ、資質・能力を多角的・多面的に見取る学習評価の促進、などが記された。カリキュラム・マネジメントについても、各教科と教科横断型の領域とが双方のよさを生かし、「教育課程総体の力を発揮させて資質・能力を育む」との観点から、一層促進させていくことが盛り込まれた。

幼児教育では、資質・能力の三つの柱(「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」)から現代的な課題を踏まえた教育内容の見直しを行う。

小学校では、「スタート・カリキュラム」などによる保幼小連携、国語教育における語彙力の強化、外国語の高学年からの教科型教育の導入と柔軟な時間割編成の促進などを図る。

中学校では、全教職員が共通認識をもった教育活動を図るための「カリキュラム・マネジメント」の促進や、部活動における指導者教育など運営上の工夫の検討。

高等学校では、学校設定教科・科目の開設による学び直しの促進を含む、教科・科目群の改訂。

特別支援教育では、インクルーシブ教育システムの構築を目指した学びの場の確保。

これらが「審議のまとめ」のポイントとして示された。「学びの地図」として示されることになった次期指導要領。授業改革の日常化を促すものとして“活用される指導要領”を目指しているといえようか。

■「審議のまとめ」（素案）目次

〔平成 28 年 8 月 1 日教育課程企画特別部会資料〕

1. 2030 年の社会と子供たちの未来

- (1) 新しい時代と「社会に開かれた教育課程」
- (2) これまでの学習指導要領改訂の理念と子供たちの現状
- (3) 次期改訂に向けた課題

2. 新しい学習指導要領等を目指す姿

- (1) 「社会に開かれた教育課程」を実現する、新しい学習指導要

領等の在り方

(2) 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現

(3) 新しい学習指導要領等の考え方を共有するための、総則の抜本的改善

3. 育成すべき資質・能力について～何ができるようになるか～

- (1) 育成すべき資質・能力についての基本的な考え方
- (2) 資質・能力に共通する要素である三つの柱
- (3) 教科等を学ぶ意義
- (4) 教科等を越えたすべての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力
- (5) 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力
- (6) 発達の段階や成長過程のつながり

4. 各教科等を学ぶ意義と教科等横断的な視点を踏まえた教育課程の編成～何を学ぶか～

5. 各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実～どのように学ぶか～

6. 幼児児童生徒の発達を踏まえた指導～子供の発達をどのように支援するか～

7. 学習評価の充実～何が身に付いたか～

8. 学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策～実施するために何が必要か～

9. 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性

- (1) 各学校段階の教育課程の基本的な枠組みと、学校段階間の接続
- (2) 各教科・科目等の内容の見直し



8月 ◆4日 箬の日 ◆5日 タクシーの日 ◆6日 広島原爆忌 ◆7日 鼻の日/立秋 [2016] ◆8日 笑いの日 ◆9日 長崎原爆忌 ◆10日 道の日 ◆11日 山の日 ◆12日 航空安全の日/太平洋横断記念日 ◆13日 左利きの日 ◆14日 専売特許の日 ◆15日 終戦記念日 ◆16日 五山送り火(京都) ◆17日 パイナップルの日 ◆18日 米の日 ◆19日 バイクの日 ◆20日 イラン・イラク戦争(1980～) 停戦(1988) ◆21日 福島県民の日/静岡県民の日 ◆22日 路面電車の日 ◆23日 処暑(2016) ◆24日 ラグビーの日 ◆25日 東京国際空港開港記念日 ◆26日 人間と市民の権利の宣言(フランス人権宣言、1989) ◆27日 映画「男はつらいよ」第一作公開(1969) ◆28日 テレビCMの日 ◆29日 秋田県の記念日/文化財保護法施行記念日 ◆30日 冒険家の日 ◆31日 野菜の日

■8/4～8/31 生まれの著名人〔敬称略〕

8月 ルイ・アームストロング(4日)、檀れい(4日)、壺井栄(5日)、柴咲コウ(5日)、アンディー・ウォーホル(6日)、堺正章(6日)、司馬遼太郎(7日)、桑名正博(7日)、池畑慎之介(8日)、天海祐希(8日)、黒柳徹子(9日)、池上彰(9日)、角野卓造(10日)、箕利夫(10日)、吉川英治(11日)、中尾彬(11日)、徳川家光(12日)、貴乃花光司(12日)、伊藤みどり(13日)、篠原涼子(13日)、シートン〔動物学者〕(14日)、桂歌丸(14日)、ナポレオン・ボナパルト(15日)、萩野公介(15日)、マドンナ(16日)、ダルビッシュ有(16日)、ベンガル(17日)、戸田恵梨香(17日)、城山三郎(18日)、ロバート・レッドフォード(18日)、ココ・シャネル(19日)、松本幸四郎(19日)、白川英樹〔ノーベル科学賞受賞者〕(20日)、杉井ギサブロー〔アニメ監督〕(20日)、稲川淳二(21日)、ウサイン・ボルト(21日)、タモリ(22日)、菅野美穂(22日)、三好達治(23日)、高橋ひとみ(23日)、三池崇史(24日)、高嶋ちさ子(24日)、福田恆存〔文芸評論家〕(25日)、コシノ・ジュンコ(25日)、マザー・テレサ(26日)、いがらしゆみこ(26日)、宮沢賢治(27日)、剛力彩芽(27日)、ゲーテ(28日)、宮川花子(28日)、谷山浩子(29日)、伊藤勲(29日)、井上陽水(30日)、松本潤(30日)、リチャード・ギア(31日)、青木功(31日)

●中教審教育課程企画特別部会「論点整理」が公表されてから1年。この間の議論の積み重ねが「審議のまとめ」として今夏とりまとめられます。今号でご紹介した素案をもとに、8月中旬、教育課程企画特別部会で再度検討が行われ、公表へと向かう見込みです。

●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申し込みを承り中です。右下のQRコードから簡単にお手続きいただけます。この機にぜひお申し込みください！

●「きょういくプレス」次号 [8月25日(木)発行] で審議状況の続報を掲載予定です。



●ご注文・お問い合わせ先

(株)ぎょうせい

フリーコール 0120-953-431

フリーFAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者